



【親子で…】

5月17日、年少は春の遠足の代わりに『親子の集い』をしました。土曜日ですが、平日と同じ時間帯に登園し、普段行っている活動を見ていただいたり、一緒に活動していただいたりしました。その後は、大ホールに移動し、親子で体を動かしました。当日は、あいにくの雨でしたが、子どもたちは嬉しそうな顔で登園してくれました。中には緊張していつもとは違う様子の子もいましたが、元気に楽しく活動できました。

【遠足、歩きました…】

5月16日（金）にはまつ組、23日（金）にはばら組が遠足に行きました。場所はしながわ区民公園です。大井町駅に集合し、そこからみんなで歩いていきました。昨年行った浜川公園より遠い場所ですが、しっかり歩くことができました。帰りも大森駅まで歩きました。両方のクラスともに曇りでしたが天候に恵まれました。

それぞれの遠足では、歩いている途中でツバメの巣を発見しました。親ツバメが巣の中で鳴いている子どものツバメに餌を食べさせている様子を見ることができました。こういった発見は、歩いて出かける良さといえるかもしれません。大森駅まで歩いた後は、京浜東北線に乗って大井町まで戻りました。たった一駅でしたが、これも子どもたちの印象に残ったようです。保護者の皆様、大井町駅までの送り迎えのご協力ありがとうございました。

【水筒は…】

暑さ対策として子どもたちに水筒を持参させています。今のところ極端に暑い日はありませんが、水分補給には欠かせないものになっています。外で遊ぶ前、外で遊んだ後に水筒の中身を飲むように伝えています。保管場所は壁のフックやロッカーの上になっています。



ありがとう

昼食の時間になると各部屋から子どもたちの声が響いてきます。「たくさんの皆様のおかげで、今日もこんなにおいしいお食事がいただけますことを感謝いたします。いただきます。」子どもたちが唱和した後、お弁当のふたが開かれます。子どもたちにとって、食事は身近な方が作ってくれるものと認識していると思いますが、そればかりでないことは皆様ご存じのとおりです。食材を作る人、食材を加工する人、流通に関わる人等々、多くの方々のかかわりがあってこそ、食事が成り立っているのです。そういうことを気づかせてくれるのが、冒頭の言葉だと思います。してもらって当たり前ではなく、たくさんの方々の手を経ているからこそ、こうして食事ができるのだということに気づかせよう、感謝の心をもたせようとした試みなのです。「いただきます。」「ごちそうさま。」日々何気なく言っているものですが、子どもたちには、しっかりと考えてもらいたいものだと思います。



6月 指導のねらい

すみれ組

- 自分の好きな遊びを十分に楽しみながら、友達のしていることにも興味を示したり遊んだりする。

ばら組

- 保育者や友達に親しみや関心をもって関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。

まつ組

- 夏の自然や身近な環境に触れ、見たり試したり考えたりして遊ぶ。



講師による指導（6月）

器楽指導

渡辺 正明先生 まつ組

英語指導

ロス ビトナー先生 ばら組 まつ組

体育指導

櫻井 由香先生 ばら組

松本 幸浩先生 まつ組



○お知らせ

「水遊びについて」

梅雨入り前ですが、そろそろ夏の準備を始めます。まずは日よけやプールの準備です。水遊びは6月の下旬から始めるので、園庭に組み立て式のプールを出します。結構大きなプールなので、すみれ組の子どもたちはびっくりするかもしれません。また、今年も暑さ対策で園庭に日よけを張ります。今年も3枚出そうと考えています。

後日改めて水遊びにご協力いただくことをお知らせします。

しながわがくげい 6月 水無月(みなづき)の俳句

梅雨入り間近の季節になりました。園舎内の飾りもアジサイに変わりました。うっとうしい気候ですが、ちょっと植物などに目を向けてみると新しい発見があるかもしれません。

紫陽花や 昨日の誠 今日の嘘(正岡子規)

五月雨を あつめて早し 最上川(松尾芭蕉)

梅雨雲の うぐひす鳴けり こゑひそか(水原秋櫻子)

さみだれや 青柴積める 軒の下(芥川龍之介)

梅雨の地に はずまめ球は 投げ上げる(中村草田男)

さみだれや 名もなき川の おそろしき(与謝蕪村)

青梅に 手をかけて寝る 蛙哉(小林一茶)

明らみて 一方暗し 梅雨の空(高浜虚子)

